

カミオン 特別編集

V8 ART TRUCKS with V8 ENGINE スペシャル

美しき現役V8搭載車たち

東日本編

西日本編



OR
↑
排気音が聞ける！
走行シーンが見れる！

由加丸船団V8艦隊

カタログで見る
V8ベース車たち

令和V8白書

中古トラック車両8部品在庫数が
国内最大級のリトラスに聞く

令和V8白書

●部品部門 リサイクルパーツ

国内4ディーラーへの納入実績がある確かな技術。独自に設けた厳しい点検項目に合格した商品だけを商品として登録！

状態と価格は用途に応じて幅広く設定

取り急ぎなるべく早く使いたい、長く乗れるよう状態の良いものがほしい、部品取りのため状態はそこまでこだわらないなど、品質状態が価格に直結するリサイクルパーツの活用方法はそれぞれだ。パーツセンターでは、Sランク、Aランク、Bランクの評価基準を設けているが、特筆点はこれまでの取り扱い実績がすべてデータベース化され「カムシャフトが流り異音がる傾向がある」など、それぞれのエンジン特性を分析している点にある。また試運転を含めた独自検査により交換が必要な消耗品がある場合はあらかじめ提示されている点も選択を速やかにくする配慮だ。なお、パーツ本部執行役員の佐々木健次さんによると、「23年3月から'24年3月にかけて同社へのV8エンジンに関する問い合わせ件数は181件で、販売数は43件。ちなみにトップはどちらも8M21だそうだ。



↑'24年3月1日取材時にストックするV8エンジンは4基、撮影のため機から降ろしてもらった。手前から8M21、RHB、RQB、6TE1。一番奥は10PE1だ。→エンジンは単型ごと棚に整理とストックされる。↓出荷待ちのリサイクルパーツ。なお出荷も入荷も輸送で行うのが基本だ。



↑佐々木健次さんはパーツセンターの現場責任者。「当社ならではの技術と実績に基づき、そして品質には、自信しかありません」。

→パーツセンターはドアヤシードなどトラック部品は全般的にわり取られる。ちなみにこの棚は自動庫庫。

↑「大-183」は管理番号で、棚に記載された「E2413」はアドレス。向かどこにあるかは同社のネットワークで即確認可能だ。



中古トラックの展示車両数と部品在庫数とともに業界最大級を誇るリトラス。近年の燃料高騰や排ガス規制により主流とはいえないV8エンジンにも注力する同社へ、車両と部品の2つの観点から令和におけるV8エンジンの現状と将来の展望を聞いた。

車両部門と部品部門が集約する 福井エリアを訪問！



パーツセンター



リトラス・セラマックス



福井支店

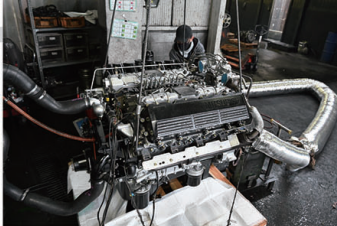


福井第1工場

リトラスは中古トラック市場に関するサービスのすべてに対応できるように、車両の売り買いを行う9つの支店（展示場）と3つの塗装工場、部品のリサイクルとリビルトを請け負うパーツセンター、DPFマフラーの洗浄を行うリトラス・セラマックスの4部門間で連携しているのが特徴だ。今回は眞次専務取締役の案内のもと、車両と部品部門が集約する福井エリアを訪問。ディーラーとは異なるアプローチでV8に関わる同社の取り組みを見学させていただいた。V8に乗っている人も、これから乗りたいと考えている人も、ぜひ一読してほしい。



眞次専務取締役はネットワーク構築や工作機械の導入で商品開発や作業環境を強化する一方、社員の意識改革を推進し作業性を飛躍的に向上させた立役者だ。



独自の品質基準をクリアし、最終検が行われる三菱ふそう 8M21 リビルトエンジン。試運転はアクセルの役割を果たす操作パネル内で、回転数を調整。互換に運転するが厳しい点検項目をひとつひとつチェックしている。



すべての検査を終え美しくよみがえった 8M21 エンジンはこの後ホームページに掲載するために撮影。すくんに売れてしまいうぞうだ。



オイルもれや燃料もれの有無、オイルクーラーの温度測定など、作業指導書に基づき厳格に検査。V8 エンジンには車式が異なりだけに、こうした点検のひとつが難かしい。



● 部品部門 **リビルトパーツ**

距離数だけでなく年式における傾向と対策と、架装と使用状況まで加味した分析の積み重ねによりの確かなリビルトを実施!

分解から組立まで自社工場でワンストップ

前ページで触れた V8 エンジンの販売数は、同社全体の売上比率に換算するとわずか 2% という。それでも同社では一定数の根強いファンが買の良い V8 エンジンを探めている要望により、リビルト需要はますます高まっていくと予測。そのため他の売れ筋エンジンと同様、リビルト部門でも工程をわかりやすくマニュアル化することで作業効率を向上させ、各社の型式や年式ならではのクセを蓄積し造詣を深めているようだ。しかしなごん五数は少ないため欲しいときに手に入らないことが多いにしろいう。同社では自車のエンジンの現物修理にに応じてくれるが「ただそれも時間がかかってしまいます」と佐々木さん。「これまでの実績から各エンジンの耐用年数と故障しやすい箇所を分析し故障の予測をおおよそ見当づけられるようになりました。そのため V8 乗りのみならずにはエンジンが快調のものにこそ今後どう乗っていくのか一緒に相談していただくと考えています」。



パーツセンターに持ち込まれたエンジンはまずは洗浄。管理者が決められているため、どの場所も清掃と整えが行き届いている。



エンジンは車両ごと持ち込まれるケースが多いため、シャシから降ろす作業は車種に応じた作業指導書が作成されている。

ミッションもリビルト!

ミッションのリビルト作業に活用するのがこちらの台車。分解した 1 基分のパーツを整理と並べて管理できるほか作業場への移動がラクに行えるのも特徴だ。なお台車は興専務が設計した特注品。作業効率を高める要素はこうした点にも現れている。



コスト削減しながら DPF をリフレッシュ!

パーツセンター内に併設する「リトラ・セラメックス」は、DPF (ディーゼル・パーティキュレート・フィルター) のクリーニングに世界的な特許技術を持つセラメックス社 (イギリス) との合併会社だ。専用機械によりフィルターに付まった排出ガスの微粒子を除去。新品交換に比べコストをかなり抑えられるため、運送事業者から大きな注目を集めている。



クリーニング加工を施した中古エンジンエクターを販売。1 本あたり費用は 1.6 万円〜。新品は 5 万円するだけに V8 車の費用対効果は◎!



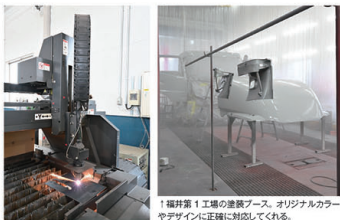
エンジンのリビルトは工程ごとに担当者が単独で作業に当たるのが同社の基本姿勢だ。ちなみに上の写真で分解に取り組むのは女性スタッフ。熟練の職人のように作業が進行する。



シリンダーライナーの内径測定は専用機械でデジタル計測。シリンダーゲージも正確かつスピーディーに計測できる。



持ち場には工程の作業指導書を確認できるモニターを設置。メモリある作業が行えるように作業時間がカウント表示されている。



1 福井第 1 工場の塗装ブース。オリジナルカラーやデザインに正確に対応してくれる。



1 福井第 1 工場の塗装ブース。オリジナルカラーやデザインに正確に対応してくれる。

1 福井第 1 工場の架修・塗装ラインは全 12 列。そのうちの 1 列ではムービングフロアを施行中。ちなみに、45 フィートコンテナへの旅行は日本初となる。



リビルトした 8M21 エンジンを換装した平成 13 年式のスーパーグレード。仕入れ時は衝突マフラーだったが、あえてノーマル仕様へと変更。サイドローバーや磨り傷の補修板も同時に架装されている。



パーツセンターで美しく生まれ変わった F210 エンジンとミッションを換装する日野アロニアデラウイは平成 14 年式。経年劣化でへたった副機はすべて交換され、フレームは再塗装される。なおキャブは塗装前だが、トアメットにする予定もあり。



●車両部門 販売・買取／架装

経年変化でどんなに外装がくたびれていても卓越した技術とセンスを誇る自社工場で外装も架装も自由自在にリフレッシュ！

展示車両 400 台のうち V8 はたった 1 台

国内に展開する 9 つの車両展示場のうち、8800 坪という随一の敷地面積を誇るのが福井支店。同店では約 400 台の車両が車型や架装ごとに展示されていたが、取材当日に見かけた V8 車両はたった 1 台のみ。そのように五数少ない車両だが、架修と架装を行う福井第 1 工場では、2 台もの V8 車両が架装中だ。ちなみにリトラスでは '24 年 5 月に開催される「ジャパントラックショー（神奈川県・パシフィコ横浜）」、「NEW 環境展（東京都・東京ビッグサイト）」、「建設・測量生産性向上展（千葉県・幕張メッセ）」に 3 つのイベントへ出展、両車はデモカーとして展示される予定だ。気になる架装内容はリフレッシュ技術の高さがよりわかりやすく感じられるよう、あえてノーマルにレストアしたスタイル。もちろん両車ともパーツセンターでリビルトしたエンジンとミッションを載せ替えられ塗装されたフレーム回りと相まって美しい輝きは旧車のようだ。V8 車両に興味がある人はぜひリトラスブースを堪能してほしい。



同店で扱う全車両の情報は一括ネットワーク管理。知りたい情報はすぐに調べられる。

→ 洗車場で使われる洗剤は同社オリジナルだ。



↓ この日唯一見かけた点検前の V8 車両。特殊な架装もポイントだ。



福井支店内の点検棟。点検項目はもちろん自社のシステムに入力される。



ホームページで掲載する写真は、専用スタジオにて一定環境下で撮影されている。

福井支店では比較しやすいよう車型や架装ごとに車両展示。場内の試乗は OK!



まずはホームページを見てお問い合わせを!

「9 つの支店、3 つの架装工場、リトラス・セラメックス、パーツセンターはネットワークですべての情報を共有しています。そのためご不明点がありましたら、まず私たちフロントまでお電話してほしいです」と販売部門を統括する玉井和重執行役員。「市場に多く出回らない V8 関連をお探しの際は「予約販売サービス」をおススメします。利用方法は「予算、走行距離、車両情報、注文期限」をお教えいただければ、まずはお気軽にご相談ください。みなさまからのお電話をお待ちしております。」

●お問い合わせ：パーツセンター TEL.0778-21-0123 <https://www.retrus-parts.jp/>



パーツセンターのフロントで販売部門を統括する玉井和重執行役員。「元のオーナーと仕入れ担当者の思いを込めて、一同、誠心誠意対応させていただきます。」